

大垣商議所などがワンストップ相談会



オンラインで経営の相談に乗る専門家ら＝大垣市
小野、市情報工房

経営者の悩み親身に

大垣商工会議所と大垣共立銀行、大垣西濃信用金庫が連携して取り組む「ワンストップ経営相談会」が20日、大垣市小野の市情報工房で始まり、小規模事業者らが専門家からアドバイスを受けている。21日まで。

(鈴木隆宏)

販路開拓や補助金申請助言

今回で9回目。新型コロナウイルスの感染防止のために同工房内で場所を分散し、それぞれ少人数で密にならないように実施。またオンラインでの相談も取り入れた。このため日程を従来より1日延長して2日間にした。

経営者の悩みや不安にさまざまな見地から答えられるように、中小企業診断士をはじめ社会保険労務士や税理士など24人の専門家が相談員を務める。

両日合わせての申し込み

相談数は140件。販路開拓が最多の42件で、補助金申請に関する相談が15件と2番目に多い。コロナ禍を反映し、減少した売上高をいかにして回復させるかに重点を置いた相談が多く寄せられた。